



2018年11月29日発行 会報第952号

今週のプログラム

(2018年11月29日 第952回例会)

「ファイアサイドミーティング①」

藤田 芳浩 会員

次週のプログラム

(2018年12月6日 第953回例会)

卓話「最近のマラソン」

山本 雅之 会員

第951回例会 (2018年11月15日) の記録

<会長の時間>

会長 藤田 芳浩

皆様こんばんは 本当に残念ですが、岡部次郎名誉会員が11月10日に逝去されました。思い起こしますと私が、千里メイプルロータリークラブ入会時に、ロータリークラブについてお話を頂いたのが、岡部次郎名誉会員であったように記憶しています。岡部次郎名誉会員は、1927年8月12日の御生まれでロータリーに入会されたのが1977年3月17日ですので、49歳でロータリアンとなられロータリー一歴は、41年と8ヶ月になります。いつも岡部次郎名誉会員は、我がことのように千里メイプルロータリークラブの事を気にかけて頂き、様々なアドバイスを頂きました。感謝に絶えませんがこれからもますますクラブを盛り上げていくことが、岡部次郎名誉会員への恩返しだと理解しております。皆様のご協力をこれからも宜しくお願い致します。前回の例会では、関西大学国際部にご協力をお願いして、国際教育センター副センター長 古川智樹准教授に留学生7名を引率して頂き、米山奨学生 金東河さんと合わせて8名の留学生の方々にスピーチを頂き大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。木下吉宏国際交流委員長有難うございました。さて、本日は8月23日台風接近のため本日に振り替えました「国際奉仕フォーラム」を、黒川彰夫国際奉仕委員長をお願いしております、宜しくお願い致します。先日、創立20周年記念式典記念誌の原稿の件で、山本加奈子様にもメールで連絡を取りましたが、その返信メールが23時過ぎとなり、夜中過ぎまで仕事で毎日午前様だと嘆いておられました。当分この多忙な状態が続くとの事です。それでもラオスの事で何かあればいつでもお申しつけください、大丈夫です、連絡お待ちしておりますとの事です。年内にお会いできればと思いますので、今後も連絡を継続していきたいと思っております。それと別途御連絡ですが、11月29日のファイアサイドミーティングは、私のわがままでこのホテルB1のバイキングレストラン「ヴェルデ」にて開催致します。食事の内容は、平日ディナー貸し切りでバイキング食べ放題・ドリンク飲み放題となっています。是非共ご参加いただき、美味しいお料理・飲み物と自由な発想での会話を全員でお楽しみいただきたいと思っております。欠席するともったいないと思っておりますので、ご出席お願い致します。

＜お客様＞ なし

＜出席報告＞

西本 明文出席担当

会員数（内出席免除会員 1 名） 20 名
本日の出席者数 17 名
（内出席免除会員 1 名 名誉会員 0 名）
本日の出席率 85%
前々回 11 月 1 日の修正出席率 89.47%

＜黙 禱＞

全会員

岡部 次郎 名誉会員 逝去

＜ピアノ演奏＞

近藤 美里さん

1. 千の風になって
2. ノクターン 遺作 ショパン
3. 「悲愴ソナタ」より第 2 楽章
ベートーヴェン

＜幹事報告＞

水島 洋 幹事

1. 事務局 近藤さんの執務時間が昨日から 12 月末まで午前 10 時から午後 3 時に変更になっています。例会欠席のご連絡、会報原稿の送付は水曜日の 12 時までをお願いします。
2. 本日例会終了後、例会場におきまして臨時理事会を開催致します。議題は「クリスマス例会会費の件」です。ご参集願います。
3. 来週 11 月 22 日は休会となっています。お間違いありませんように。
4. 11/29 ヴェルデでのファイアサイドミーティングは受付からそちらで行います。
3F に来られませんように。

＜親睦委員会＞

山田克子委員長

1. 山田千尋さんが 1 2 月にリーガロイヤルホテルでお仲間とコンサートに出演します。
回覧を見てあげてください。
2. X'mas 例会、岡部さんを思うと悩みました。でも、楽しく華やかに頑張りたいと気持ちを切り替えました。どうかご家族、ご友人のたくさんのご参加をお願いしたいので、お誘いの方よろしくお願い致します。

＜SAA 報告＞

*スマイルボックス

水本会員 岡部名誉会員を偲んで。
西本明文会員 前回欠席のおわび
西本詩子会員 年末の気忙しさを感じます
黒川会員 朝夕めっきり寒いですね
山田会員 岡部さんクラブ入会時に推薦者になってくださりありがとうございます。
心より感謝しています。

*ロータリー財団

黒川会員 本日のフォーラムよろしく
相原会員 コメントなし

*米山記念奨学会

木下健治会員 少し寒くなりましたかね？
黒川会員 国際奉仕のフォーラム忘れていました。
山下会員、相原会員 コメントなし

*ラオス基金

黒川会員 ラオスに行こう!!
山田会員 いてくださるだけで尊敬しておりました。入会時、岡部さんがオリエンテーションして下さった事を宝物にします。
山下会員、西本明文会員、西本詩子会員 コメントなし

*メイプル基金

藤田会員 黒川委員長、本日フォーラム宜しく申し上げます。
木下健治会員 黒川委員長、宜しく申し上げます!
水島会員 岡部名誉会員のご冥福をお祈りいたします。
野崎会員 岡部会員おつかれさまでした。とてもまっすぐで、心あたたまる大先輩でした。
西本詩子会員 オリーブの木に実が沢山つきました。ほろ苦い味です。
黒川会員 2週欠席のおわび!!と野崎先生おめでとうございます。
山田会員 X'mas 例会、がんばりますので皆さんどうか、たくさんのご家族、ご友人をお誘いください。おねがい致します。
村田会員 岡部さんのご冥福を
山下会員、山本友亮会員、西本昭文会員、渡邊会員 コメントなし |

〈卓話〉「国際奉仕フォーラム」

国際奉仕委員長 黒川彰夫

定款によりますと「国際奉仕は第四部門であり、書物などを読むことや通信を通じて、さらには他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである」としています。

去る7月12日、年初の各委員会活動方針で述べましたように、国際奉仕部門には「ロータリー財団」「米山奨学会」「国際奉仕プロジェクト」「国際交流・青少年」の四つの委員会があり、それぞれが特徴ある活動を行って頂きたいのです。

本年度の「ロータリー財団委員会」の委員長は松田親男会員、副委員長は山本友亮会員で、強力な布陣であります。「米山奨学会委員会」の委員長は山下聰一郎会員で副委員長は木下吉宏会員、米山奨学生の金東河君のカウンセラーとしては直前会長の水本徹会員が頑張っておられます。

「国際奉仕プロジェクト委員会」の委員長は松田親男会員が兼任して下さり、副委員長は木下吉宏会員が兼任して下さっています。そして、「国際交流・青少年委員会」の委員長は木下吉宏会員で副委員長は山本友亮会員なのです。

つまり、会員20人の弱小クラブでは、兼任せざるを得ないのであります。

松田親男会員が担当して頂いている「ロータリー財団委員会」と「国際奉仕プロジェクト委員会」について述べます。「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」によりますと、「ロータリー財団委員会の役割は、補助金プロジェクトへの参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立案し、実施することです」とあります。そして、「財団に関する会員教育」が必要であると記載されています。それは、財団委員会の責務の一つであるとされているのです。

会員にロータリー財団についての教育を行うことで、会員が財団のプログラムに熱心に参加し、寄付をしようという気持ち生まれ、委員会の目標達成に近づくことができるでしょうと述べられています。ところで、「国際奉仕プロジェクト委員会」という実態は地区にも無く、多くのクラブでも認められませんでした。ただ、「プロジェクト委員会」は幾つかのクラブで見られ、クラブ奉仕部門や社会奉仕部門に分類されていました。

さて、我クラブの「ロータリー財団委員会」も、このような活動を実施する必要があるのでしょうか？松田親男委員長から、過去の経緯や今後についてのご意見をお聞かせいただきました。

次に、「米山奨学会委員会」についてですが、我クラブからは過去、現在を含め多くの奨学生を輩出しています。これは素晴らしいことと考えていますが、更なる発展のためにご意見を頂きたいと考えます。山下聰一郎委員長、木下吉宏副委員長そしてカウンセラーの水本徹会員、さらに昨年のカウンセラーであった木下健治会員のご意見をお聞かせ頂きました。多くの過去の経験から、奨学生に対する今後の在り方(国の選抜など)について貴重な意見が述べられました。

次に、「国際交流・青少年委員会」では、我クラブ独自の奉仕活動として関西大学の留学生を主体とした交流会を実施しています。委員長である木下吉宏会員と副委員長は山本友亮会員から、今後この伝統を若干の改善を加えながら継続するべきであるというご意見を頂きました。

ところで、2660 地区における国際奉仕委員会(前田要之助委員長)の考え方は(2018-19 年度、地区研修・協議会・議事録より)国際奉仕について次のように述べておられます。

まず、世界理解と平和推進が重要である。それらは、①人道的国際奉仕、②国際レベルの教育・文化活動、③特別月間と催し、④国際的会合の4つで構成されており、持続的な活動が重要であると述べておられます。

さて、会員数 20 名の弱小クラブである私たちには、大人数のクラブと同じ活動は無理であるため、独自の活動を実施して来ました。

それが「ラオス」における国際奉仕活動です。「ラオス農村地域における学校保健支援」を目指して活動している川崎医療福祉大学准教授の山本加奈子先生を通して10年以上永続的な支援を続けているのです。このことは、地区の研修で述べている内容とは若干異なりますが、ロータリークラブの本質からして誇るべき活動であり、今後も継続するべきだと私は考えています。

一方、山田克子前国際奉仕委員長の提案された、ラカボサ・クレラ(元米山奨学生)さんによる卓話などを企画し、私たちの国際的視野を広める活動もこれからは必要であると考えています。

以上、出席された全ての会員から意義あるご意見を聞かせて頂きました。今回の「国際奉仕フォーラム」が、今後の千里メイプルロータリークラブの発展に寄与することを願っております。

<編集後記・追加情報・ チョット一言・ライブラリー・etc>

今回の卓話が、小生担当の「国際奉仕フォーラム」であることを知ったのは、会場に到着した時でした。「どうしよう！」と背中に冷汗が流れた瞬間、藤田会長から「台風 20 号で流会となった国際奉仕フォーラムですよ。」と言われ、USB の 8 月 23 日のファイルを開いて「ほっ！」としました。

用意していた原稿があったのです。こんな思いは、今回だけにするつもりです！？

(文責：黒川彰夫)